乙訓八景

乙訓八景とは

乙訓地域の観光振興と四季折々の豊かな自然に優れた歴史遺産を広くPRすることを目的に、昭和61年に乙訓商工連絡協議会（現乙訓商工・観光協議会）が、一般公募により選定したものです。選定されたものは、いずれも市町民に親しまれているもので、乙訓地域だけでなく、京都府を代表する豊かな自然と優れた歴史遺産です。

桜の向日神社（むこうじじんじゃ）

P WC C-2

創建は七八年と伝えられる古社。本殿は、四八年事始めになる室町時代の「三間社流造」で国の重要文化財に指定されている。春には大鳥居から社殿に至る石畳の参道の桜が美しく咲き乱れる。

歴史の長岡宮跡（ながおかのみやあと）

P D-2

七八四年に桓武天皇により造営された長岡京の中心。大極殿の跡、周囲には内裏外郭築地回廊跡や築地跡があり、国の史跡に指定されている。毎年毎年、十月十二日には大極殿祭が催される。

三川合流と天王山（みかわがっりゅうとてんのうざん）

B-4

京都と大阪の境にある標高270mの低い山で、古来よりしばしば戦場になった。中でも一五八二年羽柴秀吉が明智光秀を討った天王山の合戦は有名で、中腹から桂川、宇治川、木津川の三川合流が眺望できる。

ぼたんの乙訓寺（おとくにでら）

WC C-2

推古天皇の勅願寺として聖徳太子が創建したと伝えられるもので乙訓地方最古の寺。毎年四月下旬から五月上旬にかけて境内にある二千余株の「ボタン」の大輪が色とりどりに美しく花開く。

八条ケ池とキリシマツツジの長岡天満宮（はちじょうがいけ・ながおかてんまんぐう）

P WC C-3

菅原道真が太宰府に左遷される時に名残を惜しむために訪れた地といわれ、道真を祭神として奉っている。境内の東隣には八条ケ池があり毎年四月下旬には濃紅色のキリシマツツジが咲き誇る。

もみじの光明寺（こうみょうじ）

P WC B-2

二九八年に法然上人の弟子蓮生法師が開基した西山浄土宗総本山。緑豊かな西山の麓に広がる境内は四季折々の豊かな自然に囲まれており、晩秋には参道のもみじの紅葉が真紅に染まる。●有料期間あり

聖天さんと宝寺（しょうてんさん・たからでら）

P WC B-4

■観音寺（山崎聖天）
開基は寛平法皇（宇多天皇）で近世の木造以外で作成されたものとしては、歓喜天を祭っている。象頭がここに家運の隆盛を祈ったことで有名。春には桜が咲き乱れる。

■宝積寺（宝寺）
聖武天皇の勅願寺で僧行基の開基といわれている。寺宝に竜神が伝えたという打出小槌がある。十一面観音や閻魔王像など国の重文多数がある。

●部有料施設あり

乙訓の竹林（乙訓金風）

西山には、現在多くの竹林が残っていて「竹の子」や「竹の姫」伝説発祥の地ともいわれ、四季折々の表情があり、見るものの心を誘う。

向日市
mukoushi

向日市文化資料館

P WC C-2

昭和59年開館。発掘調査により出土した長岡宮跡の遺物を中心に展示している。また、年に1度の特別展のほか企画展や各種の講演会等が行われている。
原則　月曜日休館

石塔寺（せきとうじ）

C-2

鎌倉末期、京都に日蓮宗を広めた日像上人が向日神社前に建てた法華題目の石塔への信仰から起こった寺院。毎年五月三日の花まつりで京都府の無形民俗文化財「鵜冠井題目踊り」が奉納される。

物集女車塚古墳（もずめくるまづかこふん）

C-1

全長45mの古墳時代後期の6世紀中葉の前方後円墳。後円部は直径31m、高さ9m、前方部は幅38m、高さ8mの大きさで、埴輪、須恵器、土師器、馬具、刀剣類など数多く出土している。

須田家住宅（すだけ）

C-2

「松葉屋」の屋号で醤油の製造販売を営んでいた旧家。西国街道と愛宕道、丹波道の分岐点にあり、「六二年に作成された古文書にも記載されており、京都府の文化財に指定されている。

南真経寺・北真経寺（みなみしんきょうじ・きたしんきょうじ）

C-2 D-2

鎌倉末期に日像上人の布教により、村人が日蓮宗に改宗した信仰の中心。江戸時代に僧侶の学校「檀林」が現在の北真経寺に置かれ、南寺に分けられた。本堂などが京都府の文化財に指定されている。

向日市天文館

P WC C-2

平成24年10月に、天文館がリニューアルオープンした。誰もが気軽に天体に親しみ、天体に関する理解と関心を深めるため、プラネタリウム投影や天体観望会を開催している。
原則　月火曜日休館
●プラネタリウム観覧は有料

桓武天皇皇后陵（かんむてんのうこうごうりょう）

C-1

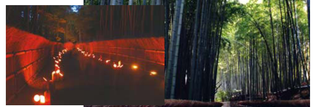
長岡京を築いた桓武天皇の皇后のお墓として宮内庁陵になっている。直径65m高さ7mの円形をしている。近くには、古墳時代前期の妙見山古墳があったが、タケノコ畑の土入れ作業などにより消滅した。

竹の径（みち）

C-1

「竹の径」は、7種類の竹用が整然と連なる全長約1,800mの竹林道で、市内外を問わず、散策など竹林浴の地として親しまれている。また、毎年10月下旬に行われる「竹の径・かぐやの夕べ」では、夕闇が深まっていく竹灯かこ漏れる水ろうそくの優しい灯りに彩られ、幻想的な雰囲気につつまれている。

〈国土交通省「手づくり郷土賞」受賞者／日本ウオーキング協会「美しい日本の歩きたくなる道500選」なかに選定〉



大山崎町歴史資料館

P WC C-5

大正から昭和初期にかけて建てられた建物。ここでは、次郎他陶芸家の作品が展示され、その隣に安藤忠雄氏設計の地中の宝石箱「夢の箱」があり、「地中の宝石箱」にはモネの「睡蓮」他が展示される。
原則　月曜日休館
●「夢の箱」は有料

十七烈士の墓

B-4

十二烈士の墓は禁門の変（八六四年）の時、戦いに敗れ天王山山中で自刃した隊長真木和泉守以下十七名の眠る墓。彼らは新政府樹立を夢見たが、失敗に終わり、後の時代に夢を託して散っていった。毎年10月21日に墓前祭が行われる。

「秀吉の道」陶板画

B-4

天王山のハイキングコースに設置された「秀吉の道」陶板画（6カ所）は、羽柴秀吉の天下取りの物語を解説している。作家の堺屋太一さんが監修し、原画は日本画家の岩井弘さんが屏風絵風に描いたもの。

大山崎町歴史資料館

P WC C-5

天王山七合目付近に旗立松があり、山崎合戦の時、秀吉が味方の士気を高めるために松の樹上高く手柄ひとつあたらの旗印を掲げたところ、戦局にたいへん影響を与え勝利を収めたといわれている。現在の松は代目。

向日市 長岡京市 大山崎町
むこうし ながおかきょうし おおやまざきちょう

歴史と伝説の京都乙訓（おとくに）

改訂版 2013-3

散策ガイドマップ

乙訓商工・観光協議会

歴史街道

おとくに

乙訓

乙訓地方は向日市、長岡京市と大山崎町の二市一町からなり、桂川右岸に位置し、北は京都市、南は大阪府島本町に接しています。

京都と大阪を結ぶ交通要衝であることから、古代から歴史の舞台となり、古事記や日本書紀には「オトクク（弟国）」という地名の由来が記されています。

歴史上注目すべきは、七八四年に桓武天皇が「長岡京」に遷都され、十年間にわたって都が置かれたこと。また、戦国時代に羽柴秀吉と明智光秀が戦った「天下分け目の天王山」山崎合戦はあまりにも有名です。

竹林が多く「かぐや姫」伝説発祥の地ともいわれ、四季折々の豊かな自然と由緒ある寺社、長岡京跡、古墳や城址などの歴史遺産に恵まれています。美術館や歴史資料館などもあり、新田が調和した、ロマンあふれる歴史と伝説の地として、訪れる人をとりこにしています。

京都縦貫自動車道（京都内倉道路）
京都市
東海道新幹線
阪急京都線
JR京都線
名神高速道路
名神高速道路
阪急京都線
JR東海道本線
JR京都線
JR東海道本線
JR京都線
JR京都線
JR東海道本線
JR京都線
JR東海道本線
JR京都線
JR東海道本